

EasyKool ソフトウェア

取扱説明書



1 目次

1	目次	3
1.1.	説明書について	5
2	仕様	6
2.1.	用途	6
2.2.	システム要件	6
3	はじめに	7
3.1.	ソフトウェア/ドライバのインストール	7
3.2.	ソフトウェアの起動	8
4	操作	9
4.1.	ホームページ	9
4.2.	[設定]メニュー	10
4.2.1.	[基本設定]	11
4.2.1.1.	[プログラム]タブ	11
4.2.1.2.	[単位設定]タブ	11
4.2.1.3.	[所有者情報]タブ	11
4.2.2.	[システム情報]	12
4.2.3.	Copyright	13
4.3.	[測定器]メニュー	13
4.3.1.	[接続マネージャ]	13
4.3.2.	[設定]	15
4.3.2.1.	[測定器]タブ	15
4.3.2.2.	[表示言語]タブ	15
4.3.2.3.	[単位]タブ	15
4.3.2.4.	[圧力モード]タブ	15
4.3.2.5.	[プローブ・タイプ]タブ	16
4.3.2.6.	[測定モード]タブ	16
4.3.2.7.	[効率計算]タブ	16
4.3.2.8.	[冷媒]タブ	16
4.3.2.9.	[専用プリンタ設定]タブ	17
4.3.3.	[オンライン測定]	17
4.3.3.1.	[測定データ]タブ	18
4.3.3.2.	[パネルメータ]タブ	18
4.3.3.3.	[グラフ]タブ	19
4.3.3.4.	[表示項目設定]タブ	19

4.4.	[アーカイブ]メニュー.....	19
4.4.1.	[エクスプローラ]	20
4.4.1.1.	顧客の追加	20
4.4.1.2.	測定場所の追加	20
4.4.1.3.	システムの追加	21
4.4.1.4.	コンポーネントの追加.....	21
4.4.1.5.	フォルダ/測定値のコピー.....	21
4.4.1.6.	その他の機能.....	22
4.4.2.	測定データの表示	22
4.4.2.1.	[レポート形式の設定]タブ	23
4.4.2.2.	[レポート]タブ	24
4.4.2.3.	[編集]タブ	24
4.5.	冷媒管理メニュー	25
4.5.1.	冷媒ストックの表示.....	26
4.5.2.	ドキュメント変更.....	27

1.1. 説明書について

取扱説明書のご使用法

- > 製品をご使用になる前にこの取扱説明書をよく読み、製品についてあらかじめご理解ください。安全上の注意に留意し、けがのないよう取扱いにご注意ください。また、製品にダメージのないよう注意を払ってください。
- > この取扱説明書はお手元に置いていただき、必要に応じて参照してください。
- > 別の方がこの製品をご使用になる場合、この取扱説明書をお渡しください。



本ソフトウェアご使用時には、Windows® 操作に関する知識が必要です。

本書で使用している文字や希望の意味

文字・記号	説明
i	Note: 基本または関連情報.
1. ...	手順: 一連の操作手順
2. ...	
> ...	操作: 手順またはオプションの手順.
- ...	操作結果.
Menu	プログラムメニュー
[OK]	プログラムインターフェイス、OK ボタン
... ...	機能、メニュー内パス
“...”	操作例

2 仕様

2.1. 用途

testo EasyKool は、testo 556 および testo 570 測定器の機能を強化する設定および分析ソフトウェアです。次のような便利な機能を備えています:

- ソフトウェアを介した測定器の設定
- 顧客、システムおよび測定データの管理
- 測定器とのデータのインポートおよびエクスポート
- インポートしたデータからの測定レポートの作成、保存、印刷
- 測定値へのコメント追加

2.2. システム要件

オペレーティングシステム

このソフトウェアは次の OS 上で動作します:

- Windows 7
- Windows 8
- Windows® 10

コンピュータ

使用するコンピュータは、対応する OS の要件を満たしている必要があります。さらに次の要件も満たすことが必要です:

- インタフェース USB 1.1 またはそれ以上



日付と時刻の設定は、PC で設定されている日付と時刻を自動的に引き継ぎます。測定データの真正性を維持するため、管理者は必要に応じて、システムの日付と時刻が信頼できる時刻サーバーなどと定期的に同期するようにする必要があります。

3 はじめに

3.1. ソフトウェア/ドライバのインストール

1. プログラム CD をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。
2. ファイル **Setup.exe** を起動します。
3. インストール・ウィザードに従って操作します。

Vista 環境でインストールする場合は、以下の手順に注意してください。

- **ユーザーアカウント制御** ウィンドウが開いている場合：
 - > **[次へ]**をクリックします。
- **Windows セキュリティ**ウィンドウが開いている場合：
 - > **[このドライバソフトウェアをインストールする]**を選択します。
- 4. **[完了]** をクリックして、ソフトウェアのインストールを完了します。

ソフトウェアのインストールが完了したら、測定器を PC に接続して、ドライバのインストールに進みます。

5. USB ケーブルで、測定器と PC を接続します。

- 接続が確立されます。
- ドライバのインストールが自動的に実行されます。

測定器のドライバが自動認識されない場合があります。この場合は以下手順を実行してください。

Windows XP の場合:

- **[新しいハードウェアの検出ウィザード]** ウィンドウが開きます。
- 1. **[いいえ、今回は接続しません]** を選択して、**[次へ]**をクリックします。
- 2. **[ソフトウェアを自動的にインストールする]** を選択して、**[次へ]**をクリックします。

ドライバが自動的に見つからなかった場合:

- > ドライバへのパスを入力: フォルダ **Testo USB Driver**
- 3. **[完了]** をクリックします。

Windows Vista / Windows 7 の場合:

- **[新しいハードウェアが見つかりました]** ウィンドウが開きます。
- 1. **[ドライバソフトウェアを検索してインストールします]** を選択して、**[次へ]** をクリックします。

ドライバが自動的に見つからなかった場合:

- > **[コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します]** を選択して、**[参照]** をクリックします。ドライバへのパスを入力: フォルダ **Testo USB Driver**
- **[Windows セキュリティ]** ウィンドウが開いている場合:
- 2. **[このドライバソフトウェアをインストールする]** を選択します。
- 3. > **[閉じる]** をクリックします。

3.2. ソフトウェアの起動

EasyKool ソフトウェアの起動

i ソフトウェアのユーザー・インタフェースは、OS の言語で起動します (サポートされている場合)。OS の言語がサポートされていない場合、ユーザー・インタフェースは英語で表示されます。

- > **[スタート] | プログラム** (Windows XP) または **すべてのプログラム** (Windows Vista) | **Testo | testo EasyKool ソフトウェア** をクリックします。
-


i Windows Vista の場合、ソフトウェアを初めて起動するときに、**[ユーザーアカウント制御]** が開きます。

- > **[同意する]** をクリックします。
-

4 操作

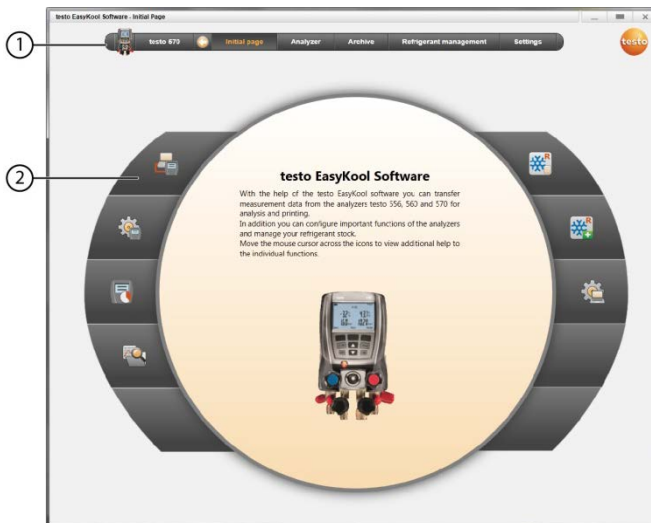
i お使いの PC に省エネモードまたはスタンバイモードが設定されていると、接続や測定データの損失などの問題が発生する恐れがありますので、この機能はオフに設定してください。

ヘルプボタン

i  ヘルプボタンを押すと、ヘルプバーが開閉します。このボタンは、ホームページ以外のすべてのメニューに表示されます。

4.1. ホームページ

testo EasyKool ソフトウェアを起動すると、ホームページが表示されます。



- 1 ステータス情報が表示されるメニュー・バー (左)
- 2 プレビュー画面によるクイックアクセス



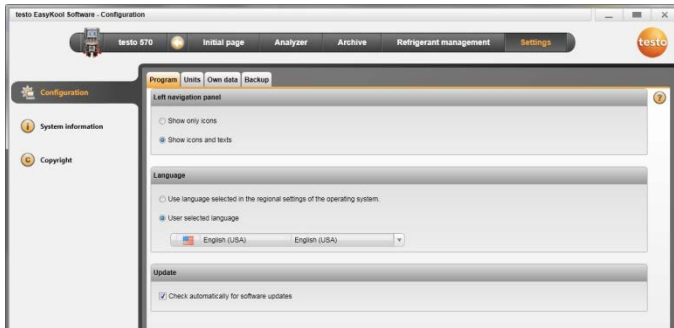
- 3 接続マネージャ
- 4 測定器の設定
- 5 オンライン測定
- 6 アーカイブした測定の管理
- 7 冷媒ストック
- 8 保存冷媒の変更内容を記録
- 9 プログラム設定

4.2. [設定]メニュー

- ✓ 測定器が testo EasyKool ソフトウェアに接続されていると、そのステータス情報がメニュー・バーに表示されます。

[設定] メニューから、**[基本設定]**、**[システム情報]** の各メニューを開くことができます。

4.2.1. [基本設定]



> **[ホームページ]** | **[プログラム設定]**を選択します。

または

> **[設定]** | **[基本設定]**を選択します。

4.2.1.1. [プログラム]タブ

- > **[左モジュールパネル]: [アイコンのみ表示]** または **[アイコンとテキストを表示]** を選択します | **[適用]**
- > **[言語]: [OS の地域設定に合わせた言語を使用]** または **[ユーザーの選択した言語]** を選択します | **[適用]**
- > **[プログラムの更新]: [ソフトウェア更新を自動確認]** を選択します | **[適用]**

4.2.1.2. [単位設定]タブ

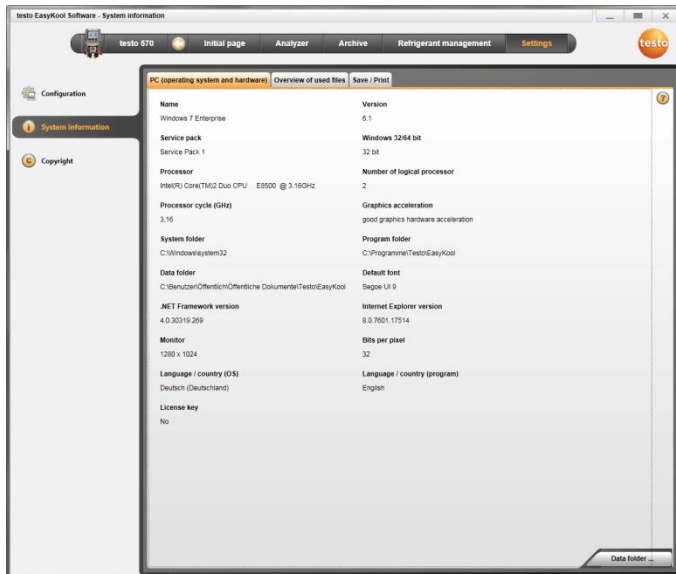
- > **[冷媒管理]: 冷媒量を入力** | **[適用]**
- > **[測定場所 (testo 556/560 のみ)]: 海拔高度を入力** | **[適用]**

4.2.1.3. [所有者情報]タブ

- > **[所有者情報]: アドレス・データを入力/変更** | **[適用]**

4.2.2. [システム情報]

[システム情報] メニューには、使用している PC とソフトウェアに関する重要な情報が表示される3つのタブがあります。これらの情報は エラー診断に役立つため、お問い合わせの際にはこの画面の情報をお手元にご用意ください。



> **[設定]** | **[システム情報]** を選択します。

実行可能な操作

> **[データフォルダ ...]**: ディレクトリを呼び出します。

4.2.3. Copyright

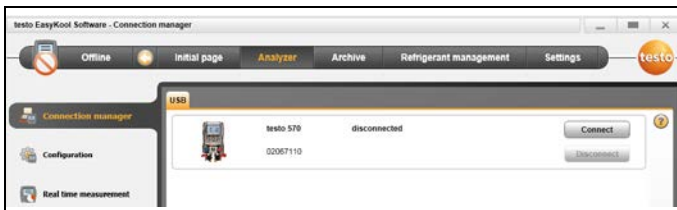


- > **[設定]** | **[Copyright]** を選択します。
- **[About]** タブが開きます。

4.3. [測定器]メニュー

4.3.1. [接続マネージャ]

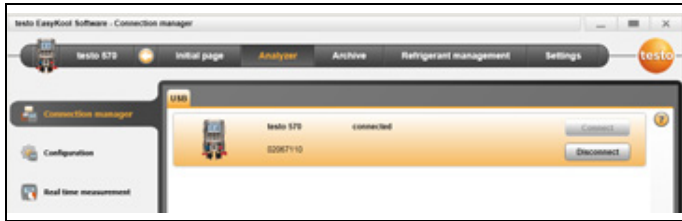
- ✓ 測定器が PC に接続されています。
- > **[ホームページ]** | **[接続マネージャ]** を選択します。
- または
- > **[測定器]** | **[接続マネージャ]** を選択します。
- 測定器の画像と機種(タイプ)が表示されます。



- > 測定器を選択して、**[接続]**をクリックします。



同時に複数の測定器を接続することはできません。



- メニュー・バーの左のステータス・ディスプレイに測定器が表示されます。
- **[接続]** ボタンが **[切断]** に変わります。
- メニュー・バーの左のステータス・ディスプレイに測定器が表示されます。

接続できない場合:

Windows XP の場合:

- > **[スタート]** | **[コントロール・パネル]** | **[パフォーマンスとメンテナンス]** | **[システム]** | **[ハードウェア]** | **[デバイス・マネージャ]** を選択します。

Windows Vista の場合:

- > **[スタート]** | **[コントロール・パネル]** | **[システムとメンテナンス]** | **[システム]** | **[デバイス・マネージャ]** を選択します。

Windows 7 の場合:

- > **[スタート]** | **[コントロール・パネル]** | **[システムとセキュリティ]** | **[システム]** | **[デバイス・マネージャ]** を選択します。

4.3.2. [設定]

- ✓ 測定器が testo EasyKool ソフトウェアに接続されていると、ステータス・バーに表示されます。



- > **[ホームページ]** | **[測定器の設定]** を選択します。

または

- > **[測定器]** | **[設定]** を選択します。

4.3.2.1. [測定器]タブ

[測定器]タブには、接続されている測定に関する重要な情報が表示されます。測定器の日付と時刻は、PC の日付と時刻に同期させることができます。

- > **[システム(PC)時刻と同期]**: 手動で日付/時刻を同期させます。

4.3.2.2. [表示言語]タブ

測定器で使用できるテキスト表示言語が表示されます。

- > **言語を選択** | **[保存]** を選択します。

4.3.2.3. [単位]タブ

[単位]タブには、温度、圧力、真空、重量の単位が表示されます。

- > **単位を選択** | **[保存]** を選択します。

4.3.2.4. [圧力モード]タブ

選択した圧力単位に応じて、絶対圧力と相対圧力の表示を切り替えます。

- > **[通常圧モード]を選択**: 絶対/相対 | **[保存]** を選択します。
- > **[モード真空圧]を選択**: 絶対/相対 | **[保存]** を選択します。

4.3.2.5. [プローブ・タイプ]タブ

使用できるプローブ・タイプが表示されます。

プローブ・タイプを選択します。

> 浸漬温度プローブまたは表面温度プローブを選択 | **[保存]** を選択します。

4.3.2.6. [測定モード]タブ

使用できる測定モードが表示されます。

測定モードを選択します。

> 通常モードまたはコンビ・モードを選択 | **[保存]** を選択します。

4.3.2.7. [効率計算]タブ

[効率計算]では、以下の値を入力できます：

- エネルギー消費量 (システムの電力消費量)
- 流量 (ヒートポンプのセカンダリ・サーキットの流体流量)
- 密度 (セカンダリ・サーキット内の媒体の密度)
- 熱容量 (セカンダリ・サーキット内の媒体の比熱容量)

> 値を入力 | **[保存]** を選択します。

4.3.2.8. [冷媒]タブ

使用できる冷媒が**[全冷媒]**エリアに表示されます。測定器で使用できる冷媒のみが表示されます。

> 冷媒を追加/削除: **[追加 >]**、**[すべて追加 >]**、**[< 削除]** または **[< すべて削除]** を使用します。

> 冷媒をソート: 冷媒を選択 | **[▲]** または **[▼]** を選択します。

実行可能な操作

> **[冷媒の更新]**: 冷媒を選択します。

> **[保存]**

4.3.2.9. [専用プリンタ設定]タブ

[Print text] タブでは、testo 556、testo 560、testo 570 測定器レポートのプリンタ設定のヘッダー行とフッター行を設定できます。

> テキスト入力フィールドに印刷テキストを入力します。

実行可能な操作

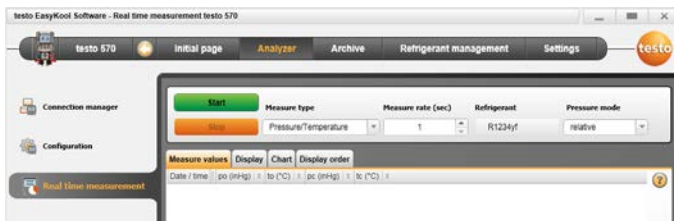
> **[所有者情報]**: 所有者情報でデータを上書きします。

> **[保存]**

4.3.3. [オンライン測定]

i 静電気の帯電により、測定器とPC/ラップトップの間の通信状況が損なわれる可能性があります。特にオンライン測定を実行(測定器とPC/ラップトップを接続)する場合または電源装置を使用する場合は、測定を開始する前に、周辺機器(冷凍空調機器、マニホールド・バルブ・ブロック、冷媒ボトル等)の間で電位差が発生しないように対策(アースの確保など)を講じてください。その際は、冷凍空調機器や冷媒使用機器の安全上の注意点も参照ください。

[オンライン測定] メニューを使用して、コールド測定を実行することができます。この場合、測定器は PC から制御されます。測定値は直接 PC に送信され、表示されます。



> **[ホームページ]** | **[オンライン測定]** を選択します。

または

> **[測定器]** | **[オンライン測定]** を選択します。

オンライン測定の実行

i **[表示項目設定]**タブで有効になっているパラメータと測定単位ののみが表示されます。

1. **[測定タイプ]**を設定します。
2. **[メモリ間隔(sec)]**を設定します。
3. **[圧力モード]**を設定します。
4. オンライン測定を開始: **[スタート]**を押します。
 - 測定値が表示されます。
5. 測定を停止: **[ストップ]**を押します。
 - オンライン測定が停止します。

4.3.3.1. [測定データ]タブ

- > **[測定データ]**: 単一測定のすべての測定チャンネルと日付/時刻を表示するテーブルです。

実行可能な操作

- > **[名前を付けて保存 ...]**: 測定値を保存します。
- > **[Excel にエクスポート]**: 測定値を Microsoft Excel (Microsoft Excel 2000 以降が必要です) にエクスポートします。
- > **[クリップボード]**: 測定値をクリップボード (ピリオド区切りのテキスト・ファイル) にエクスポートします。
 - **[パネルメータ]**タブ: すべての測定チャンネルを含むフィールドを表示します。

4.3.3.2. [パネルメータ]タブ

- **[パネルメータ]**タブ: すべての測定チャンネルを含むフィールドを表示します。現在の測定値が表示されます。

実行可能な操作

- > 表示バーの開閉: **[☺]** キーを押します。
 - > 測定中に、現在の測定値の代わりに、平均値、最大値、最小値を表示できます。
 - > 表示フィールドのサイズを変更 (ズーム): スライダを動かします。

4.3.3.3. [グラフ]タブ

- **[グラフ]**: 選択可能な 16 の測定チャンネルと時間軸の自動スケーリングを行える測定グラフが表示されます。

実行可能な操作

- > 表示バーの開閉: **[☺]** キーを押します。
 - > グラフのプロパティ (表示されるチャンネル、線の色、スケール)を設定します。
- > **[ビットマップで保存]**: グラフをファイルとして保存します。

4.3.3.4. [表示項目設定]タブ

使用できる測定チャンネルが **[使用可能なチャンネル]** エリアに表示されます。測定器の現在の表示項目設定に存在するパラメータと測定単位のみが表示されます。

オンライン測定中に PC に表示される測定チャンネルが **[選択したチャンネル]** エリアに表示されます。

表示項目を設定します。

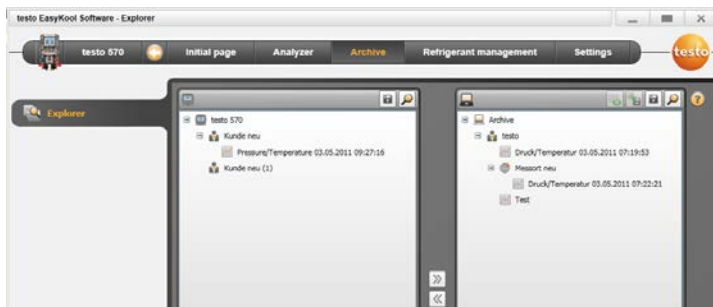
- > 測定チャンネルを追加/削除: **[追加 >]**、**[すべて追加 >]**、**[< 削除]** または **[< すべて削除]** を使用します。
- > 測定チャンネルの順序を設定: 測定チャンネルを選択 | **[▲]** または **[▼]** を選択します。

4.4. [アーカイブ]メニュー

- ✓ 測定器が testo EasyKool ソフトウェアに接続されていると、そのステータス情報がメニュー・バーに表示されます。

このメニューは、測定データをフォルダ構造に保存するために使用します。測定器が接続されており、測定器内に測定データがある場合には、これらの測定データをアーカイブにコピーして、測定器内のフォルダ構造を変更することができます。

4.4.1. [エクスプローラ]



> **[ホームページ]** | **[アーカイブした測定データの管理]** | **[testo 570 ウィンドウ]** を選択します。

または

> **[アーカイブ]** | **[エクスプローラ]** | **[testo 570 ウィンドウ]** を選択します。


次の項目はデフォルトのカテゴリとして設定されています: **[顧客情報]** | **[測定場所]** | **[インストール]** | **[コンポーネント]**

これらのカテゴリは testo EasyKool ソフトウェアを介して変更したり ([Testo]、[Building 1]、[Basement 2]、[Compressor] など)、新しいエントリを追加したりすることができます。

4.4.1.1. 顧客の追加

1. 顧客を追加:  を押します。
 - フォルダ **新規顧客情報** が作成されます。




再度  を押すと、別のフォルダが作成されます。


フォルダのテキスト・フィールド選択中に、フォルダ名を変更できます。

2. フォルダが選択されている場合は、**[顧客情報]** タブと **[アドレス]** タブに顧客情報を入力できます。

4.4.1.2. 測定場所の追加

1. 測定場所を追加:  を押します。
 - フォルダ **新規ロケーション** が作成されます。




再度  を押すと、別のフォルダが作成されます。


フォルダのテキスト・フィールド選択中に、フォルダ名を変更できます。

2. フォルダが選択されている場合は、**[ロケーション]** タブと **[アドレス]** タブ、および **[冷却機器]** タブに、測定場所に関する情報を入力できます。

4.4.1.3. システムの追加

1. システムを追加:  を押します。
 - フォルダ **新規インストール** が作成されます。
-



再度  を押すと、別のフォルダが作成されます。

フォルダのテキスト・フィールド選択中に、フォルダ名を変更できます。

2. フォルダが選択されている場合は、**[インストール]** タブにプラントに関する情報を入力できます。

4.4.1.4. コンポーネントの追加

1. コンポーネントを追加:  を押します。
 - フォルダ **新規コンポーネント** が作成されます。
-




再度  を押すと、別のフォルダが作成されます。

フォルダのテキスト・フィールド選択中に、フォルダ名を変更できます。


2. フォルダが選択されている場合は、**[コンポーネント]** タブにコンポーネントに関するコメントを入力できます。


4.4.1.5. フォルダ/測定値のコピー

1. フォルダ/測定データを選択: カーソルを目的の記号まで移動し、クリックして選択します (オレンジ色にハイライト表示されます)。
2. カーソルを目的のフォルダまで移動し、クリックして選択します (オレンジ色にハイライト表示されます)。
3. 選択したフォルダ/測定データを測定器からアーカイブにコピー:
 を押します。






または

選択したフォルダ/測定データをアーカイブから測定器にコピー:

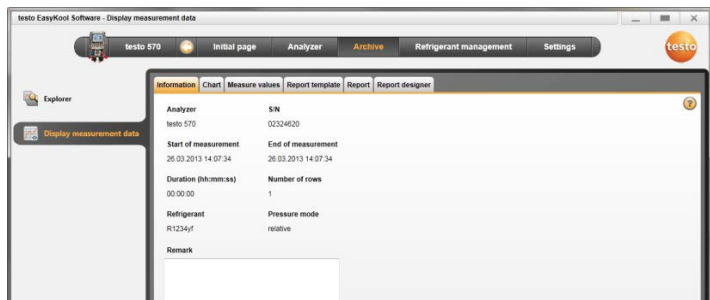
 を押します。

4. 測定器データを保存またはアーカイブ:  を押します。

4.4.1.6. その他の機能

- フォルダを削除:  を押します。
- 測定データをインポート:  を押します。
- データを検索:  を押します。
- 選択した測定データを表示:  を押します。
- 選択した測定データをエクスポート:  を押します。

4.4.2. 測定データの表示



i アーカイブの測定データのみ表示できます。そのため、測定器内のデータを表示するには、先にアーカイブにコピーしておく必要があります。

1. **[ホームページ]** | **[アーカイブした測定データの管理]** | **[アーカイブウィンドウ]** を選択します。

または

1. **[アーカイブ]** | **[エクスプローラ]** | **[アーカイブウィンドウ]** を選択します。

2. 測定データを選択 | **[開く]** を選択します。

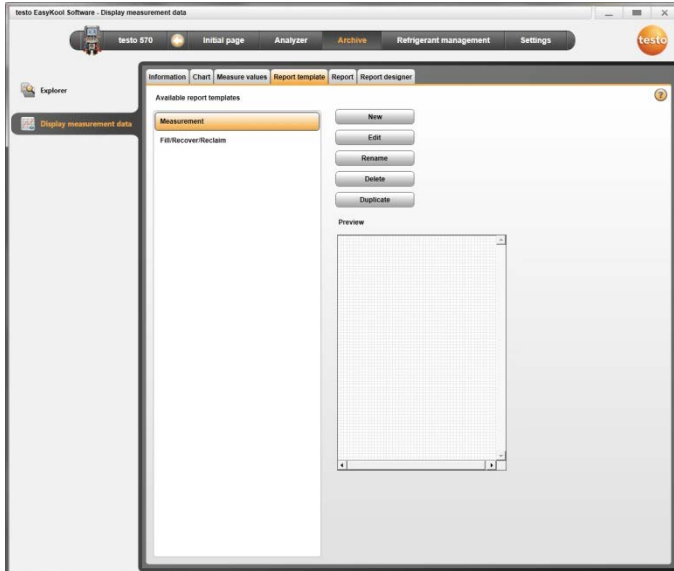
3. ファイルをダブルクリック: **[測定データを表示]** モジュールが開きます。

- **[測定データを表示]** メニューには、測定に関する重要な情報が表示される5つのタブがあります。

4.4.2.1. [レポート形式の設定]タブ

[レポート形式の設定]メニューでは、ユーザー独自の要件に合わせて、測定レポートを印刷するための形式を変更できます。

各種のレポート・テンプレートが提供されます。これらのテンプレートは、名前の変更、削除、新規作成または変更ができます。



> **[測定データの表示]**メニュー| **[レポート形式の設定]**を選択します。

実行可能な操作

- > **[新規]**: 新しいレポート・テンプレートを作成します。
- > **[編集]**: 選択したテンプレートを編集します。
- > **[名前変更]**: テンプレートの名前を変更します。
- > **[削除]**: 作成したテンプレートを削除します。
- > **[コピー]**: 選択したレポート・テンプレートのコピーを作成します。

4.4.2.2. [レポート]タブ

選択した測定データを選択したテンプレートでレポート表示します。

実行可能な操作

- > **[印刷]**: 印刷メニューを開きます。
- > **[保存]**: **[名前を付けて保存]**のウィンドウが開きます。
- > **[ズームイン]**: ビューの拡大表示
- > **[ズームアウト]**: ビューの縮小表示
- > **[100%]**: レポートの 100%表示
- > **[幅を合わせる]**: レポートのサイズをページ幅に拡大します。
- > **[全ページ]**: レポートの 1 ページを表示します。
- > **[2 ページ]**: レポートの 2 ページを表示します。

4.4.2.3. [編集]タブ

[編集] タブでは、レポート・フィールドのプロパティ(ファイル形式、フォント、線)およびページ・プロパティを変更できます。

ファイル、フォント、線に対して表示されるプロパティは、(同モジュール内の) **[テンプレート]** タブで選択したレポート・フィールドに対してのみ有効です。

- > **[フィールド]**からファイル形式を選択します:
 - **[テキスト]**: 入力したとおりに、レポート・フィールドにテキストが挿入されます。
 - **[データ]**: 選択したデータ・フィールド内の、データ・ベース(測定データ、顧客またはシステム・データ)に保存されている値がレポート・フィールドに挿入されます。
データ・ベースからフィールドを選択します **[...]**
 - **[画像]**: 選択された画像がレポート・フィールドに挿入されます。
画像を選択: **[ファイル...]** | ファイルを選択 | **[開く]**
 - **[グラフ]** (計測データ): データ・ベースに保存されている測定レポートの測定値が画像(グラフ)としてレポート・フィールドに挿入されます。
パラメータを入力します。
 - **[テーブル(表)]**: データ・ベースに保存されている測定レポートの測定値が画像(グラフ)としてレポート・フィールドに挿入されま

す。印刷エリアを選択することで、印刷するテーブルのセクションが定義されます。

> **[フォント]**を選択します:



この機能は、ファイル形式として**[テキスト]**または**[データ]**を選択している場合にのみ使用できます。

- **[フォント]**: 使用できるすべてのフォント・リストが開きます。
- **[フォント サイズ]**: フォント・サイズが選択できます。
- **[ボールド]**: マークした文字列を太字にします。
- **[イタリック]**: マークした文字列を斜体にします。
- **[フォントを指定]**: デフォルト以外のフォントを使用します。
フォントを選択:**[フォント]** | 選択 | **[OK]**を選択します。
- **[色]**: フォントの色を選択します。
- **[背景色]**: 背景色を選択します。
- **[配置]**: テキスト・フィールド内の配置(左、中、右)を選択します。

> **[データ・フィールドの表示を切替]**: データ・フィールドの表示をソースコードから値の表示に切り替えます。

> **[ズームイン]**: ビューの拡大表示

> **[ズームアウト]**: ビューの縮小表示

> **[100%]**: ビューの 100% 表示

> **[< 前ページ]** **[次ページ >]**: レポート内で前後にスクロールします。

> **[設定]**: レポートのサイズを定義します。

> **[名前を付けて保存...]**: 新しいレポートを作成します。

4.5. 冷媒管理メニュー

- ✓ 測定器が testo EasyKool ソフトウェアに接続されていると、ステータス・バーに表示されます。

4.5.1. 冷媒ストックの表示

[冷媒ストックの表示]メニューでは、特定期間内の冷媒ストックが表示されます。



> **[ホームページ]** | **[冷媒ストック]** を選択します。

または

> **[冷媒管理]** | **[冷媒ストックの表示]** を選択します。

実行可能な操作

- > **[冷媒]**: 冷媒を選択します。
- > **[開始日]**: 日付を入力します。
- > **[終了日]**: 日付を入力します。
- > **[冷媒の更新]**: 冷媒リストを更新します。

[表] タブ

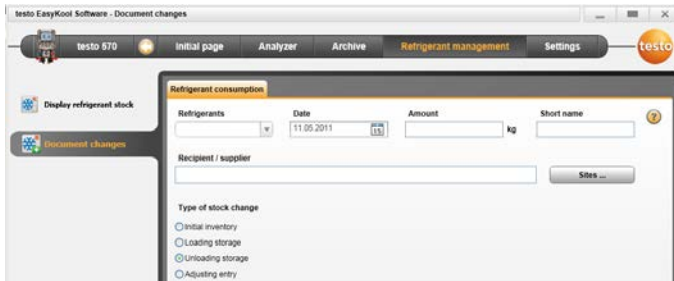
- スtock・リストを表示します。

[保存 / 印刷] タブ

- > スtock・リストを保存/印刷: 印刷記号または保存記号を選択します。

4.5.2. ドキュメント変更

[ドキュメント変更]メニューでは、ロケーション、消費量、および冷媒に関するデータを入力できます。



- > **[ホームページ]** | **[冷媒ストックの変更内容を記録]**を選択します。
または
- > **[冷媒]** | **[ドキュメント変更]**を選択します。

実行可能な操作

- > **[冷媒]**: 冷媒を選択します。
- > **[日付]**: 日付を入力します。
- > **[総量]**: 使用した量を入力します。
- > **[ショートネーム]**: 省略名を入力します。
- > **[受領者/販売店]**: 受領者/販売店を入力します。
- > **[ロケーション]**: 測定場所を選択/入力します。
- > **[ストックタイプの変更]**
 - **[期首在庫]**を選択します。
 - **[入庫在庫]**を選択します。
 - **[出庫在庫]**を選択します。
 - **[修正記入]**を選択します。
- > データを保存: **[保存]**を選択します。
- > 冷媒リストを更新: **[冷媒の更新]**を選択します。



株式会社テストー

■本社

〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-2-15 パレアナビル 7F

- セールス TEL.045-476-2288 FAX.045-476-2277
- サービスセンター(修理・校正) TEL.045-476-2266 FAX.045-476-2277

ホームページ <http://www.testo.com> e-mail info@testo.co.jp